

荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

環境サポーターによる出前講座がスタートしました

環境サポーターの皆さんが、出丸小学校と太平中学校の皆さんに講話や現地指導を行いました。

出丸小学校 5年生・6年生-7月3日(水)

環境サポーターの安孫子さん(写真左)が5年生へ、つづら甘浦さん(写真右)が6年生へ出前講座をしました。

安孫子さんの「ミドリシジミは1年にどれくらい卵を産むか?」という質問に、「1個」「240個」「2,700個」と色々な答えが返ってきました。正解は「4,000個」、とても多いですね。

「これは、何かな?」と甘浦さんが取り出した2種類の植物。すぐに「セイタカアワダチソウ」「オオブタクサ」と答えが返ってきました。6年生は、昨年教わった外来植物*1をしっかり覚えていたようです。



太平中学校 科学部-7月25日(木)

三ツ又沼ビオトープで、環境サポーターといっしょに、トンボや希少植物の調査をしました。トンボの調査では、全員があみを持って、「あそこにいる!」「逃がすなよ」などと声をかけ合いながら、慎重に捕まえていました。捕まえたトンボは図鑑で種類を調べて観察した後、三ツ又沼ビオトープへかえました。

三ツ又沼ビオトープ トピック

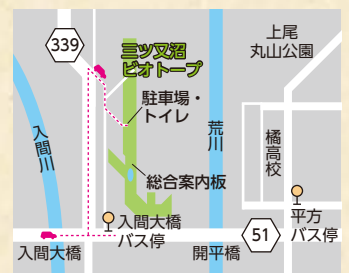
きれいなクモでした-7月6日(土)



「クモはにがて」という人もちょっと立ち止まらせるあざやかな黄色と黒のストライプ。コガネグモです。一見こわそうですが、毒はありません。埼玉県内ではなかなか見ることができなくなっているようです。

【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。



【環境サポーター】

荒川の豊かな自然が残されている三ツ又沼ビオトープを守る保全管理作業や自然学習の指導をしている市民の方々です。サポーター事務局(荒川上流河川事務所)にて登録しています。

*1 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

学校といっしょに活動しました

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、色々な方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

地域の野草を育てる実験 植栽編

埼玉県立いずみ高等学校(さいたま市)ー7月1日(月)

外来植物*1を抜き、土をほぐした後に、4月に種子をまいて育ててきた在来植物*2の苗を三ツ又沼ビオトープに植えました。これから、この在来植物がどのように成長していくのか見守っていきます。



夕暮れ時の観察会

「ミドリシジミに会いに行こう！」を開催ー7月6日(土)

当日は、定員を上回る70名の参加があり、にぎやかな観察会となりました。

第1部 環境サポーターが三ツ又沼ビオトープの自然をご案内



第2部 ミドリシジミを観察しよう ～特別に虫取りあみを使ってみよう～



この日だけ特別に、虫取りあみでミドリシジミを捕まえました。捕まえたミドリシジミはじっくり観察した後、三ツ又沼ビオトープにかえしました。

※三ツ又沼ビオトープでは、虫や植物などの生きものを捕ったり、持ち帰ったりすることが禁止されています。



*2 在来植物：日本にもともと生えている植物